

楓の森アップデート

学校教育目標：夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第11号

令和5年(2023年)10月27日
文責 校長 佐藤 政臣

学校教育努力目標

～ 令和5年度 中間アンケートより ～

全校児童に学習習慣、生活習慣等について「学校教育努力目標」の項目についてのアンケートを実施しました。このアンケートの質問項目は、熊本県学力調査の児童質問紙の内容と同様のものになります。結果は、以下の通りです。

質問1 (家庭学習の習慣化)

●家庭学習の時間については、「1年生(20分)、2年生(30分)、3年生(40分)、4年生(50分)、5年生(60分)、6年生(70分)」が目標です。この目標が達成できていますか。

- 達成できている……(67%)
- 達成できていない……(33%)



質問2 (メディア視聴)

●テレビやタブレット、スマートフォン、ゲーム機などを1日にどれくらい視聴しますか。
(目標:2時間以下)

- 2時間以下……(60%)
- 2時間以上……(40%)



質問3 (クラスの好感度)

●今のクラスが好きですか。

- 好き……(63%)
- まあまあ好き……(33%)
- あまり好きでない……(3%)
- 好きでない……(1%)



質問4 (地域の人にあいさつ)

●地域の人にあいさつをしていますか。

- している……(63%)
- ほとんどしている……(28%)
- あまりしていない……(8%)
- していない……(1%)



質問5 (朝食摂取)

●朝ごはんを食べていますか。

- 食べている……(86%)
- 食べないときがある……(12%)
- ほとんど食べない……(1%)
- 食べない……(1%)



質問6 (自分で起きる)

●朝は自分で起きていますか。

- 起きている……(38%)
- ほとんど自分で起きている……(31%)
- あまり自分で起きることができない……(25%)
- 自分で起きることができない……(6%)



まず、家庭学習の習慣化は、家庭学習の習慣がついていない児童が多いです。特に5、6年生は、中学校に向けて学習習慣をつけていく必要があります。

質問1と質問2を比較しますと、「家庭学習が達成できていない33%」、「メディア視聴 2時間以上が40%」がほぼ同数であることから、家庭学習の時間がメディア視聴に奪われているのではないかと推察されます。メディア視聴が多くなるほど家庭学習の時間が短くなる傾向にあります。

次に、クラスの好感度については、肯定的(好き、まあまあ好き)な回答が96%になりました。これは、全国平均値(89%)と比較しても高い数値であるといえます。

そして、地域の人へのあいさつについては、個人差がみられます。まず、朝一番に出会う家族へのあいさつができていますでしょうか。あいさつの習慣がないと、次に会う地域の人へのあいさつは難しいように感じます。ご家庭でもあいさつの大切さを話し合ってください。

さらに、朝ご飯ですが、きちんと食べてくる子供が多いです。朝ご飯を食べていないと学習に対する集中力が低下します。「朝ご飯コンクール」には、すばらしい作品がたくさんありました。いつもあのような朝ご飯とはいかないと思いますが、毎日のことですのでよろしく願いいたします。

最後に、「朝は自分で起きる」ということについてです。7割程度の児童が自分で起きているようです。朝起きができない子のために、「中学受験偏差値に効く究極サポート10の実践(エール出版社)」には、次のことが書かれています。

～朝起きない子どもに効果がある3つの施策～

- ①親が絶対に起こさない
 - ・親が起こしていると、「子どもは親が起こすのは当たり前」と思い、朝起きない癖は治りません。
- ②宣言効果
 - ・「明日は何時に起きる?(親)」、「6時に起きるよ。(子ども)」と自ら宣言させます。達成したい目標を周囲に宣言すると目標達成の成功率があがるといわれています。
- ③同一化の心理
 - ・憧れの選手、ドラマの主人公、志望校に合格した先輩などの憧れの存在と「同じような行動が自分にもできる」という心理です。

これらを実践したことで、著者のお子さんが朝自分から起きるようになり、みごと志望校に合格したそうです。

楓の森小HP

学校行事や子どもたちの学習の様子につきましては毎日ホームページを更新していますので、ご覧下さい
<https://es.higo.ed.jp/kaedenomori/>

